

政策課題研究4

生物多様性の保全と持続可能な利用の促進に向けた研究

生物多様性保全を促進し、その恵みを将来にわたって享受するため、県内における生物多様性の現状を評価し、保全に向けた効果的な施策のあり方を提示するとともに、行政や企業が行う様々な施策や取組みに、「生物多様性保全」の視点を組み込むための方策を提示します。

<サブテーマ>

- ・生物多様性の現状把握と保全施策の検討
- ・生物多様性保全に向けた推進方策の提示

【現状における課題】

<課題>

- 自然度の高い
森林・河川・水辺域生態系の減少
- 外来種・レジャー利用等の増加
- 在来種の減少と遺伝的劣化
- 生物導入による遺伝的搅乱 etc…



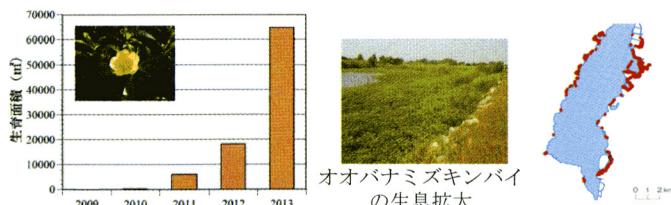
<現状>

- 生物多様性の現状が
十分に把握されていない。
- 生物多様性保全の視点が
社会に組み込まれていない。

【課題解決に向けた対応】

① 生物多様性の現状把握と保全施策の検討

- 生物多様性に関する情報整理と評価地図の作成
- 侵略的外来植物の生態解明と駆除方法検討
- ヨシ植栽－自生群落の多様性比較・管理手法検討



② 生物多様性保全に向けた推進方策の提示

- 行政と企業における
生物多様性保全に向けた主流化促進方策の検討
 - ・ 県生物多様性地域戦略の推進
 - ・ 企業のCSR活動の推進など

※【主流化】とは…

行政・企業・市民等のあらゆる社会セクターの行動に
『生物多様性保全』という視点を組み込むこと。

生物多様性保全に向けた

- 課題・知見の可視化

- 保全施策の具体化

- 促進・推進方策の提示